

横芝光町の ここが聞きたい！

9月定例会
一般質問

～ 5名の議員が登壇し、町政を問う～

登壇者と通告内容

森川 貴恵 議員・・・P5

- ◆新型コロナウイルス感染症に関する新たな課題について
- ◆交通安全への取り組みについて
- ◆特定外来生物について
- ◆庁舎内掲示物について

山崎 義貞 議員・・・P8

- ◆医療行政について
- ◆旧横芝行政センター跡地利用について
- ◆排水路整備について
- ◆教育行政について

宮菌 博香 議員・・・P6

- ◆食肉センターについて
- ◆東陽病院について
- ◆町の将来について

川島富士子 議員・・・P9

- ◆安全で安心なまちづくりについて
- ◆優しさあふれるまちづくりについて
- ◆活力あるまちづくりについて

秋鹿 幹夫 議員・・・P7

- ◆新型コロナウイルス対策について
- ◆安心、安全な通学について



① 一般質問とは

町の行政全般について、執行機関に疑問点を問い見解を求めるものです。議会だよりに掲載される内容は紙面の都合上要点のみとなっています。掲載できなかった質問は、町ホームページからご覧いただけますので、ホームページ内の「議会会議録」よりご覧ください。

なお、会議録の掲載は、議会終了後約3ヶ月を要します。現在、令和3年6月議会定例会までご覧いただけます。





森川 貴恵 議員

コロナ禍で中止、休止となった イベントや事業での不要額と人員は

令和2年度実績で、体育祭、産業まつりなど16件で 不要額は9,388千円、人員は職員数で延べ569人

一般質問

Q 自治体によりワクチン接種に差が生じる理由は

A 国から示された手引きに従いつつも、各自自治体がそれぞれに接種会場の準備、医療機関との調整、スタッフの調達、住民への案内等を行ってま

す。人口規模、ワクチンの供給量、医療機関の数、医師会の状況など同じ条件ではないため接種券の送付時期や接種の進め方に違いが生じています。

Q 自宅療養者の診療体制や支援は

A 千葉県作成の自宅療養者用のし

おりに基づき療養上の注意点を説明しています。千葉県医師会で各地域の医療機関に、保健所から訪問診療の要請があった場合、協力するように依頼がされています。



Q ウイズコロナの考え

A 町民の安全を十分に確保した上で、実施の可否を判断してまいります。

Q 通学路点検で把握した危険箇所は

A 7月27日に実施し、町の点検が16箇所、緊急一斉点検が14箇所、道路幅員の狭小や未歩道箇所、車両のスピードによる危険箇所、枝や雑草の繁茂箇所などがありました。

Q ドライバーに対して

A 行っていることはあるのか

Q 「ゼブラ・ストップ運動」「サン・ライト

A ボタニシ緊急防除対策事業を実施しており、今年度町では1団体が当該事業を活用しています。また、町では国の米政策に取り組み、米の生産目安を達成している農業者に対して、水稻病害虫等防除事業補助金を交付しています。

Q 千葉県で防除対策経費を助成するジャン

A ボタニシ緊急防除対策事業を実施しており、今年度町では1団体が当該事業を活用しています。また、町では国の米政策に取り組み、米の生産目安を達成している農業者に対して、水稻病害虫等防除事業補助金を交付しています。



Q ジャンボタニシ（ス

A クミリンゴガイ）による農業被害状況は

Q ジャンボタニシは、

A 稲を移植した後の水田に大きな被害をもたらします。九十九里を中心に確認され、町内でも全地域に発生しています。

Q 公的駆除支援はある

A のか

Q 庁舎内掲示物の日常の管理はどのように

A 行われているのか

Q 財政課長の許可を得

A て、財政課の受付印が押印されたものを財政課長の指示する場所に掲示することになっていきます。掲

Q 示期間は原則1か月とし、

A 財政課が管理しています。

Q 掲示物も含めた役場

A 入り口の雰囲気や緊急事態宣言中にふさわしいものにならなかつたか

Q 個人的な認識の問題

A や主観的な考え方もあります。意見として考慮いたします。

食肉センターは八方ふさがりの状況

令和4年度からの

指定管理者制度による運営の移行は困難



宮 蘭 博 香 議員

Q 食肉センターは明治43年に開設し、11年が経過しました。その間、独立採算制を基調とした優良企業として平成9年度まで食肉センターで生じた利益の一部を一般会計へ繰り入れてきましたが、施設の老朽化や時代の変化による問屋の撤退、PE D（豚流行性下痢）等により、平成27年度頃からは単年度収支が赤字になるなど厳しい状況に立たされてきました。このような状況から町長は令和4年4月から指定管理者制度により食肉センターの運営を変更すると説明してきましたが、現在はそのような状況なのか、お伺いします。また、千葉

県食肉流通協議会で検討がなされている印旛食肉センターとの統合はどのようになっているのか、併せてお伺いします。

施設の老朽化により、現時点では令和4年度からの指定管理者制度による運営の移行は困難で、できないものと考えています。従って、現時点では明確な方向性が見いだせない状況にあります。また、印旛食肉センターとの再編統合についても、具体的な計画まで進んでいません。

いうことであるならば、現在のまま運営していても状況が悪くなるだけで、先が見えません。そうであるならば、発展的な閉鎖も含め検討していかねければならない時期にきていると思いますが、町長のお考えをお伺いします。

議員が言われたことを含め、検討していかねければならないと思います。

Q 令和2年度末の財政調整基金は2,458万円まで減ってきています。そして、施設は老朽化し、統合計画も進まないとい

いうことであるならば、現在のまま運営していても状況が悪くなるだけで、先が見えません。そうであるならば、発展的な閉鎖も含め検討していかねければならない時期にきていると思いますが、町長のお考えをお伺いします。

議員が言われたことを含め、検討していかねければならないと思います。

定期期間は2028年度末まであります。当町の生き残り戦略としては、成田空港と共生共栄をしながら発展していかなければなりません。以前にも申し上げましたが、当町が要望した事項を国・千葉県・NAAに早期に実施していただくか、または、実施していただくための確約を取り付ける必要があります。特に、芝山鉄道の延伸は、避けて通ることのできない問題です。国は成田国際空港を日本の空の表玄関として、また、ハブ空港として考えています。千葉県は外国人を対象とした観光立県を目指しているということから、鉄道は絶対に欠かすことのできないものであると思います。また、成田国際空港の更なる機能強化がなされた場合は、多くの従業員等が通勤等をするのにも絶対に整備されなければならないと思います。そうなることにより、民間活力についても期待できる状況になり生産人口の定住による税収の増加も期待できると思いますが、なぜこのような重大事項が進まないのか、町長にお伺いします。

芝山鉄道の延伸は絶対に必要

Q 成田国際空港の更なる機能強化の完成予

定時期は2028年度末まであります。当町の生き残り戦略としては、成田空港と共生共栄をしながら発展していかなければなりません。以前にも申し上げましたが、当町が要望した事項を国・千葉県・NAAに早期に実施していただくか、または、実施していただくための確約を取り付ける必要があります。特に、芝山鉄道の延伸は、避けて通ることのできない問題です。国は成田国際空港を日本の空の表玄関として、また、ハブ空港として考えています。千葉県は外国人を対象とした観光立県を目指しているということから、鉄道は絶対に欠かすことのできない

芝山鉄道の延伸については、芝山鉄道延伸連絡協議会（芝山町・山武市・横芝光町で構成）などで意見交換を行い、意識の醸成を図っていきたくと申し上げてきました。現実的には非常に大きなプロジェクトであり、莫大な費用と時間を費やすことから、まずは道路整備、企業誘致、河川改修などを進めることで定住者を増やしていくことが必要であると考えています。



秋鹿幹夫 議員

安心、安全な通学路の確立は

児童会、PTAからの意見を把握

一般質問

Q 6月30日の千葉
県からの通学路
緊急一斉点検について、
新たに確認された危険
箇所は。

A 緊急一斉点検に
おいて実施した
危険箇所は14箇所であ
り、そのうち新たに確
認された危険箇所は4
箇所でありました。

Q 危険箇所に対す
る対策は

A 緊急一斉点検に
よる新たな危険
箇所に対する対策につ
いては、白線の引き直
しやグリーンベルトの
設置、路面標示などの
ハード対策が3件、民
地からの樹木の張り出
しやブロック塀の傾き
などについて、道路管
理者から適正管理を指
導する対策が3件、計
6件の対策を実施する
予定となっております。



▲通学路合同点検（光地域）

Q 横芝光町通学路交通
安全プログラムにつ
いて、プログラム内の合同
点検と、今回の緊急一斉点
検の違いは。

A 町で毎年行っている
プログラム内の点検
は、小中学校を横芝地域・
光地域に分け、それぞれ2
年に1回、合同点検を実施
しているところであります
が、今回の緊急一斉点検は、
小学校の通学路のみを点検
することとしております。

点検における、危険箇所の
抽出や合同点検の方法、関
係機関との連携などについ
ては、両点検共に同様の内
容であります。

Q プログラム内のP D
C Aサイクルについ
て、点検時に抽出された危
険箇所が安全なものに改善
されていれば良いが、以前
の合同点検実施結果と一斉
点検実施結果等を確認した
ところ、毎回同じような場
所が点検されて、同じよう
な対策が取られていたり、
対策が進んでいないような
感じに受け取れる。P D C
Aサイクルがしっかりと機
能していれば、その進捗が
見えて来るのが当然だと考
えるが、町の認識は。

A プログラム内の点検
におけるP D C Aサ
イクルや対策効果の把握に
つきましては、対策箇所の
実施状況確認や対策後の各
危険箇所の通学状況につい
て現地確認を行うとともに、
学校を通じて児童会やP T
Aからの対策効果について
の意見を把握し、対策内容
の改善・充実を図るよう努
めております。また、危険
箇所や対策内容について

は、児童・保護者、地域住
民、関係機関の認識を高め、
広く協力を得られるよう町
ホームページに公表するこ
ととしております。

Q 今後の取り組みにつ
いて、プログラム自
体の見直しはあるか。

A プログラム自体の見
直しにつきましては、
現時点での見直しは考えて
おりませんが、国が定める
「通学路における合同点検
等実施要領」や「交通安全
業務計画」の規定を踏まえ、
見直しの必要が生じた場合
は、随時対応していきたい
と考えております。



一般質問

旧横芝行政センター跡地利用について

民間活用を取り入れた方法等も含め

柔軟に検討



山崎 義貞 議員

Q 旧横芝行政センターは、国道126号線に面した活用価値・条件の良いところであり、町民の多くが望む有効活用が求められるが、有効活用を図る為の考え方は。また、土地の売却に関してもどのように考えるのか。

A 横芝光インターチェンジから車で約5分、JR横芝駅からも近いと非常に好条件な立地であることから、この条件を最大限に活用できるよう、現在見直しに向けて事務を進めている横芝光都市計画とも整合性を図りながら検討してまいります。また、売却については、売却処分するか、民間活力等を導入した

賃貸等にするのか、今後、慎重に検討してまいりたいと考えております。



▲旧横芝行政センター（旧横芝町役場）

Q 新型コロナウイルス感染症拡大が続いている現在、療養体制を確立し、感染者の重症化を防ぐことが求められています。療養体制の現状と保健所の負担軽減と抜本的拡充を。

A 現在感染者が急増しており、軽症者のほとんどの方が自宅療養となっている現状です。千葉県では自宅療養者用のしおりを作成し、しおりに基づいて療養上の注意点を説明しています。自宅療養者には、保健所から1日1回の電話があり健康観察が行われています。また、保健所の負担軽減と抜本的拡充については、8月から新規感染者が急増しており、保健

所の業務が多忙となっている状況で各自治体に応援協力の依頼があり、町内で自宅療養をしている方へのパルスオキシメーターの配送ことで協議しています。



Q 東陽病院の経営改善は、病院利用者に信頼されることであり、その取り組みについては。

A 2年に1度「患者満足度調査」を行い、その結果を今後の利用者サービスに繋げ、理解が得られるように努めているところです。令和元年度に実施した調査では、設備面、接待面で満足度が低下していたため、全職員を対象とした接遇研修を定例化し、運営方針の見直し、設備の改善や人材育成に取り組みしているとあります。

Q 宮内地先、熊野神社下流には排水ポンプが設置され、水田や道路冠水が免れている。光小学校南側には新興住宅があり、道路冠水を防ぐためにも強制排水機能の整備が必要ではないか。

A 宮内地先の強制排水の整備については、主として大利根土地改良区が管理しており、農業用水路としての機能に支障はないため、強制排水の整備計画はないと伺っております。



川島 富士子 議員

総合計画にSDGs理念の反映を

SDGsの理念を反映させたい

一般質問

Q 総合計画にSDGs理念の反映を

A 持続可能な開発目標を意味するSDGsは、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現を目指す世界共通の目標であり、日本政府もSDGs実施指針を策定するなど取り組みを本格化しています。また、町が行う施策等にSDGsの理念を取り入れることはとても重要なことだと認識しており、第二次横芝光町総合計画の後期基本計画策定にあたっては、施策の素案を立案する町職員を対象としたSDGs研修を実施し、知識・理解を深め、町施策とSDGsの17の目標との関連付けを行い、SDGsの理念を反映させてまいります。

Q 県道横芝下総線バイパス交差点の信号機設置は

A 令和2年3月7日のバイパス開通により、今まで優先道路であった区間が一時停止規制となり、事故が多発したことから信号機設置要望をいただきましたが、設置に至りませんでした。その後、「外側線の引き直し・「交差点注意」の路面標示・カラー舗装等の追加安全対策工事・「止まれ」の大型規制標識の追加設置・山武警察署による交差点での交通安全指導を行ってきましたが、その後においても事故が続き、6月18日には死亡事故が発生。さらなる交通安全対策を進めています。また、7月13日付けで、再度信号機設置要望書を山武警察署へ提出いたしました。今後も、信号機による交通規制となるよう引き続き要望してまいります。

Q 带状疱疹予防ワクチン助成金の導入を

A 带状疱疹ワクチンは平成30年3月に、海外製の乾燥組換え带状疱疹ワクチンが、50歳以上の带状疱疹の予防を効能・効果として製造販売承認を取得し、令和2年1月から販売が開始されました。50歳以上の成人に2か月間隔で2回接種が必要で、带状疱疹に対する有効性は50歳以上で97・2%、70歳以上で89・8%です。带状疱疹予防ワクチン助成金の導入は、今後の発症状況などを注視し、研究してまいります。

Q 認知症高齢者および障がい者見守りシールの配布を

A 高齢者の見守りシールは、認知症のため道に迷うなどした高齢者らの早期発見、保護につながる新たな見守りシステムです。ニックネームや生年月日、性別、発見通知メールアドレスなどが登録され

たQRコード付きの「見守りシール」を衣類、帽子、鞆などに貼り付け、徘徊する高齢者を見つけた人がそのQRコードをスマートフォンで読み取った時点で家族らに第一報メールが届き、第一報メールの後、詳細なやり取りをメールで行う仕組みになっています。町はこの事業を10月から実施できるよう、準備を進めています。障害者の見守りシールは、関係者、関係事業所などと情報交換を行ってまいります。

※その他の質問
 ・ 町道I-14号線 清長大橋から県道横芝停車場白浜線の安全対策を 飲酒運転根絶に向けた 施策を
 ・ 地域気象防災支援のための気象庁等による取り組みを
 ・ 災害時における聴覚障がい者への情報伝達は 企業版ふるさと納税のさらなる活用を